

創造から新天新地へー24章でたどる神の救済史

20章 「復活ー新創造の始まり」

ヨハネの福音書 20章

はじめに

(1) これまでの流れ

- ①創造ー神は良い世界を造られた。
- ②墮落ー罪によって死が世界に入った。
- ③契約の歴史ー神は救済計画を進められた。
- ④メシア到来ー約束の救い主が来られた。
- ⑤御国の提示ーイエスは御国を宣言された。
- ⑥イスラエルの拒絶ー宗教指導者たちはメシアを退けた。
- ⑦新しい契約ー過越の成就である。
- ⑧十字架ー救済計画の中心である。

(2) ヨハ 20章の意味

- ①十字架によって贖いは完了した。
- ②ヨハ 20章は、その結果としての「新しいのち」の開始を描く。
- ③テーマは「復活＝新創造の始まり」である。
- ④ヨハネは創世記1章との対応を意識している。
- ⑤「週の初めの日」＝新しい創造の第一日

命題：イエスの復活は歴史的事実である。

目撃者の証言がそれを証明している。

I. 墓が空になっていたという証言 (1～10節)

1. マグダラのマリアの訪問 (1節)

**Joh 20:1** さて、週の初めの日、朝早くまだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓にやって来て、墓から石が取りのけられているのを見た。

- ①まだ暗いうちに墓にやって来た。
- ②石が取り除かれているのを見た。

2. ペテロと「もう一人の弟子」(2～9節)

**Joh 20:6** 彼に続いてシモン・ペテロも来て、墓に入り、亜麻布が置いてあるのを見た。

**Joh 20:7** イエスの頭を包んでいた布は亜麻布と一緒にではなく、離れたところに丸めてあった。

- ①ヨハネの方が先に到着。

- ②しかしペテロが先に墓に入る。
- ③亜麻布と頭布の配置が重要。
- ④復活は「盗難」ではない。
- ⑤秩序ある状況が復活の事実性を示す。

### 3. 信仰の萌芽 (8~10節)

- ①ヨハネは「見て信じた」。
- ②しかしまだ完全な理解には至っていない。

## II. マグダラのマリアの証言 (11~18節)

### 1. 悲しみの中の探求 (11~13節)

**Joh 20:13** 彼らはマリアに言った。「女の方、なぜ泣いているのですか。」彼女は言った。「だれかが私の主を取って行きました。どこに主を置いたのか、私には分かりません。」

- ①墓の外で泣いている。
- ②天使との対話。

### 2. 復活の主との出会い (14~16節)

**Joh 20:16** イエスは彼女に言われた。「マリア。」彼女は振り向いて、ヘブル語で「ラボニ」、すなわち「先生」とイエスに言った。

- ①最初は気づかない。
- ②「マリア」と呼ばれて認識する。
- ③羊は牧者の声を知る (ヨハ10章との対応)。

### 3. 新しい関係の宣言 (17節)

**Joh 20:17** イエスは彼女に言われた。「わたしにすがりついてはいけません。わたしはまだ父のもとに上っていないのです。わたしの兄弟たちのところに行って、『わたしは、わたしの父であり、あなたがたの父である方、わたしの神であり、あなたがたの神である方のもとに上る』と伝えなさい。」

- ①「わたしにすがりついてはいけない」
- ②「わたしの父はあなたがたの父」

### 4. 証人としての派遣 (18節)

**Joh 20:18** マグダラのマリアは行って、弟子たちに「私は主を見ました」と言い、主が自分にこれらのことを話されたと伝えた。

- ①最初の復活の証人は女性。
- ②創作なら、女性を証人にはしない。

### III. 弟子たちの証言 (19~23節)

**Joh 20:19** その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちがいたところでは、ユダヤ人を恐れて戸に鍵がかけられていた。すると、イエスが来て彼らの真ん中に立ち、こう言われた。「平安があなたがたにあるように。」

**Joh 20:20** こう言って、イエスは手と脇腹を彼らに示された。弟子たちは主を見て喜んだ。

**Joh 20:21** イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父がわたしを遣わされたように、わたしもあなたがたを遣わします。」

#### 1. 恐れの中の弟子たち (19節)

①戸を閉めて隠れている。

#### 2. 平安の宣言 (19~21節)

①「平安があなたがたにあるように」

②十字架の結果としての平安

#### 3. 派遣の使命 (21節)

①「父がわたしを遣わしたように」

②教会の宣教の原型

#### 4. 聖霊の付与 (22節)

**Joh 20:22** こう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。」

①息を吹きかける。

②創世記2章との対応

③これは「新創造の象徴的行為」である。

④また、ペンテコステの予告的行為である。

#### 5. 罪の赦しの権威 (23節)

**Joh 20:23** あなたがたがだれかの罪を赦すなら、その人の罪は赦されます。赦さずに残すなら、そのまま残ります。」

①福音宣教に伴う宣言的権威が与えられる。

### IV. トマスの証言 (24~29節)

#### 1. 疑うトマス (24~25節)

**Joh 20:24** 十二弟子の一人で、デドモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。

**Joh 20:25** そこで、ほかの弟子たちは彼に「私たちは主を見た」と言った。しかし、トマスは彼らに「私は、その手に釘の跡を見て、釘の跡に指を入れ、その脇腹に手を入れてみなければ、決して信じません」と言った。

①経験主義的信仰

2. トマスへの顕現 (26~27節)

**Joh 20:26** 八日後、弟子たちは再び家の中におり、トマスも彼らと一緒にいた。戸には鍵がかけられていたが、イエスがやって来て、彼らの真ん中に立ち、「平安があなたがたにあるように」と言われた。

**Joh 20:27** それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしの脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」

①8日後に再び現れる

②個人的対応

3. 最高の信仰告白 (28節)

①「私の主、私の神よ」

②ヨハネ福音書のクライマックス的宣言

4. 見ずに信じる信仰 (29節)

**Joh 20:29** イエスは彼に言われた。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ないで信じる人たちは幸いです。」

①教会時代の信仰の本質

今日の信者への適用

- (1) 私たちの信仰は空の墓に基づく歴史的信仰である。
- (2) 復活は単なる奇跡ではなく「新しいいのちの開始」である。
- (3) 恐れの中にいる者に主は「平安」を与えられる。
- (4) 見ずに信じる信仰が祝福される。